

様式第4のイ（第4条、第5条関係）

製造所
一般取扱所
構造設備明細書

事業の概要							
危険物の取扱作業の内容							
製造所（一般取扱所）の敷地面積		㎡					
建築物の構造	階数		建築面積	㎡	延べ面積	㎡	
	壁	延焼のおそれのある外壁		柱		床	
		その他の壁		はり		屋根	
窓			出入口		階段		
建築物の一部に製造所（一般取扱所）を設ける場合の建築物の構造		階数		建築面積	㎡	延べ面積	㎡
		建築物の構造概要					
製造設備の概要（取扱）							
令第9条第1項第20号のタンクの概要							
配管				加圧設備			
加熱設備				乾燥設備			
貯留設備				電気設備			
換気、排出の設備				静電気除去設備			
避雷設備				警報設備			
消火設備							
工事請負者住所氏名		電話					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 建築物の一部に製造所（一般取扱所）を設ける場合の建築物の構造の欄は、該当する場合のみ記入すること。
 3 令第9条第1項第20号のタンクにあつては、構造設備明細書（様式第4のハ、様式第4のニ又は様式第4のホ）を添付すること。

様式第4のロ（第4条、第5条関係）

屋内貯蔵所構造設備明細書

事業の概要											
建築物の構造	階数		建築面積	m ²		延べ面積	m ²				
	壁	延焼のおそれのある外壁		柱			床				
		その他の壁		はり			屋根又は上階の床				
	窓		出入口			階段			軒高 階高	m	
建築物の一部に貯蔵所を設ける場合の建築物の構造		階数		建築面積	m ²		延べ面積	m ²			
		建築物の構造概要									
架台の構造											
採光、照明設備											
換気、排出の設備											
電気設備											
避雷設備											
通風、冷房装置等の設備											
消火設備											
警報設備											
工事請負者住所氏名		電話									

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 建築物の一部に貯蔵所を設ける場合の建築物の構造の欄は、該当する場合のみ記入すること。

様式第4のハ（第4条、第5条関係）

屋外タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要						
貯蔵する危険物の概要		引火点	℃	貯蔵温度	℃	
基礎、据付方法の概要						
タンクの構造、設備	形状			常圧・加圧（ kPa）		
	寸法			容量		
	材質、板厚					
	通気管	種別	数	内径又は作動圧		
					mm kPa	
	安全装置	種別	数	作動圧		
					kPa	
液量表示装置			引火防止装置	有・無		
不活性気体の封入設備			タンク保温材の概要			
注入口の位置			注入口付近の接地電極	有・無		
防油堤	構造		容量	排水設備		
ポンプ設備の概要						
避雷設備						
配管						
消火設備			タンクの加熱設備			
工事請負者住所氏名	電話					

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

様式第4の二（第4条、第5条関係）

屋内タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要								
タンク専用室の構造	壁	延焼のおそれのある外壁			床			
		その他の壁			出入口	(しきい高さ c m)		
	屋根				その他			
建築物の一部にタンク専用室を設ける場合の建築物の構造		階数		設置階		建築面積	m ²	
		建築物の構造概要						
タンクの構造、設備	形状				常圧・加圧(kPa)			
	寸法				容量			
	材質、板厚							
	通気管	種別		数	内径又は作動圧			
					mm kPa			
	安全装置	種別		数	作動圧			
			kPa					
液量表示装置				引火防止装置	有・無			
注入口の位置				注入口付近の接地電極	有・無			
ポンプ設備の概要								
採光、照明設備				換気、排出の設備				
配管								
消火設備				警報設備				
工事請負者住所氏名	電話							

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

様式第4のホ（第4条、第5条関係）

地下タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要				
タンクの設置方法		タンク室 ・ 直埋設 ・ 漏れ防止		
タンクの種類		鋼製タンク・強化プラスチック製二重殻タンク・鋼製二重殻タンク 鋼製強化プラスチック製二重殻タンク		
タ ン ク の 構 造 、 設 備	形状			常圧 ・ 加圧（ kPa）
	寸法	直径 鏡出し	mm・同長 mm	容量 ℓ
	材質、板厚			
	外面の保護			
	危険物の漏れ検 地設備又は漏れ 防止構造の概要			
	通気管	種別	数	内径又は作動圧
				mm kPa
	安全装置	種別	数	作動圧
	可燃性蒸気 回収設備	有（ ）・ 無		
液量表示装置		引火防止装置	有 ・ 無	
タンク室又はタンク室 以外の基礎、固定方法 の概要				
注入口の位置		注入口付近の 接地電極	有 ・ 無	
ポンプ設備の概要				
配管				
電気設備				
消火設備				
工事請負者住所氏名	TEL			

- 備考 1 この様式の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 「直埋設」とは、二重殻タンクをタンク室以外の場所に設置する方法（地下貯蔵タンクを危険物の漏えいを防止することができる構造により地盤面下に設置する方法を除く。）をいう。
- 3 「鋼製強化プラスチック製二重殻タンク」とは、令第13条第2項第2号イに掲げる材料で造った地下貯蔵タンクに同項第1号ロに掲げる措置を講じたものをいう。

様式第4のへ（第4条、第4条関係）

簡易タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要					
専用室の構造	壁	延焼のおそれのある外壁		床	
		その他の壁		屋根	
	出入口	(しきい高さ c m)		その他	
タンクの構造、設備	形状		寸法		
	容量		材質、板厚		
	通気管		給油、注油設備		
タンクの固定方法					
採光、照明設備					
換気、排気の設備					
消火設備					
工事請負者住所氏名		電話			

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

様式第4のト (第4条、第5条関係)

移動タンク貯蔵所構造設備明細書

車名及び型式											
製造事業所名											
危険物	類別				側面 当 材 材質記号	引張り強さ	N/mm ²				
	品名						板厚	mm			
	化学名				防護 材 材質記号	引張り強さ		N/mm ²			
	比重						板厚	mm			
タンク	断面形状					閉鎖 装置		自動閉鎖装置	有・無		
	内測 寸法	長さ	mm				手動閉鎖装置		有・無		
		幅	mm			吐出口の位置		左右後			
	高さ	mm			レバーの位置		左右後				
緒元	最大容量		ℓ			底弁損傷防止方法					
	タンク室の容量		ℓ			接地導線		有(長さ m)・無			
	材料	材質記号					緊結 装置	緊結金具 (すみ金具)		有・無	
		板	胴板	mm				U ボルト	材質記号		
鏡板			mm			箱材 材 材質記号			引張り強さ		N/mm ²
厚	間仕切板		mm				栓 材 材質記号	引張り強さ	N/mm ²		
防波板	材料	材質記号							消火 器	薬剤の種別	
		引張り強さ		N/mm ²			薬剤量			kg	kg
	板厚		mm			個 数	可燃性蒸気回収設備		有・無		
	面積比 防波板面積 ×100 タンク断面積		%				給油設備		有(航空機・船舶)・無		
タンクの最大常用圧力		kPa			側 面 材 材質記号	備 考					
安全 装置	作動圧力		kPa								
	有効吹き出し面積		cm ²								
側 面 材 材質記号	材質記号										
	引張り強さ		N/mm ²								
	板厚		mm								
	取付角度										
接地角度											

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

様式第4のトの2（第4条、第5条関係）

積載式移動タンク貯蔵所（移動貯蔵タンクが国際海事機関が採択した危険物の運送に関する規程に定める基準に適合するもの）構造設備明細書

車名及び型式			
製造事業所			
危険物	類別		
	品名		
	化学名		
	比重		
移動貯蔵タンクが国際海事機関が採択した危険物の運送に関する規程に定める基準に適合していることを承認した国名（機関名）及び承認番号		国名（機関名）	承認番号
緊締装置	緊締金具		有 ・ 無
	Uボルト	材質記号	
		引張り強さ	N/mm ²
		直径、本数	mm ・ 本
消火器	薬剤の種類		
	薬剤量	kg	kg
	個数	個	個
備考			

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

様式第4のチ（第4条、第5条関係）

屋外貯蔵所構造設備明細書

事業の概要	
区画内面積	
さく等の構造	
地盤面の状況	
架台の構造	
消火設備	
工事請負者 住所氏名	電話

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

様式第4のり（第4条、第5条関係）

（表）

給油取扱所構造設備明細書

事業の概要									
敷地面積		m ²							
給油空地		間口		m		奥行		m	
注油空地		有（容器詰替 ・ 移動貯蔵タンクに注入） ・ 無							
空地の舗装		コンクリート・その他（ ）							
建築物の給油取扱書の用に供する部分の構造		階数		建築面積		水平投影面積			
		階		m ²		m ²			
		壁	柱	床	はり	屋根	窓	出入口	
建築物の一部に給油取扱所を設ける場合の建築物の構造		階数	延べ面積	建築面積	壁	柱	床	はり	
上屋の有無 （給油取扱所以外）		有（用途 ） ・ 無 （有の場合、屋根又はひさしの有無 有（ m） ・ 無）							
建築物の用途別面積	用途 \ 項目	床又は壁で区画された部分の1階の床面積			床又は壁で区画された部分（係員のみが出入りするものを除く。）の床面積（2階以上を含む。）				
	第1号	m ²							
	第1号の2	m ²			m ²				
	第2号	m ²			m ²				
	第3号	m ²			m ²				
	第4号	m ²							
	第5号	m ²							
	計	m ²			m ²				
周囲の塀又は壁		構造等				高さ	m		
		はめごろし戸の有無 有（網入りガラス・その他（ ）） ・ 無							

(裏)

固定給油設備等	項目	型式	数	道路境界線からの間隔	敷地境界線からの間隔
	設備				
	固定給油設備			m	m
	固定注油設備			m	m
固定給油設備以外の給油設備		給油配管及び（ホース機器・給油ホース車（台）） 給油タンク車			
付随設備の概要					
電気設備					
消火設備					
警報設備					
避難設備					
事務所等その他 火気使用設備					
滞留防止措置		地盤面を高くし傾斜を設ける措置 その他（ ）			
流出防止措置		排水溝及び油分離装置を設ける措置 その他（ ）			
タンク設備		専用タンク		可燃性蒸気 回収設備	有 ・ 無
		廃油タンク		簡易タンク	
工事請負者 住所氏名		電話			

- 備考
- この様式の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。
 - 建築物の一部に給油取扱所を設ける場合の建築物の構造は、該当する場合のみ記入すること。
 - 建築物の用途別面積の欄中「用途」とは、第 25 条の 4 第 1 項各号又は第 27 条の 3 第 3 項各号に定める用途をいう。
 - 専用タンク、廃油タンク等又は簡易タンクにあっては、構造設備明細書（様式第 4 のホ又は様式第 4 のへ）を添付すること。

様式第4のヌ（第4条、第5条関係）

第一種販売取扱所
第二種販売取扱所
構造設備明細書

事業の概要						
建築物の構造	階数		建築面積	m ²	延べ面積	m ²
	構造概要					
店舗部分の構造	面積	m ²	壁	延焼のおそれのある外壁		
	床			その他の壁		
	柱		屋根又は上階の床			
	天井		は	り		
	窓		出	入	口	
配合室	面積	m ²				
	排出の設備					
電気設備						
消火設備						
工事請負者 住所氏名		電話				

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 建築物欄は、
第一種販売取扱所
第二種販売取扱所
を設置する建築物について記入する。

様式第4のル（第4条、第5条関係）

（表）

移送取扱所構造設備明細書

事業の概要								
配管の設置	地上設置	有・無	配管の諸元	溶接	方法			
	地下設置	有・無			機器			
	道路下設置	有・無			材質			
	線路下設置	有・無		伸縮吸収措置の方法				
	河川保全区域内設置	有・無		防食被覆	塗装 覆材	塗装材料		
	海上設置	有・無				覆装材料		
	海底設置	有・無			防食被覆の方法			
	道路横断設置	有・無		電気防食	対地電位平均値			
	線路下横断設置	有・無			電位測定端子間隔			km
	河川等横断設置	有・無			防食の種類			
	専用隧道内設置	有・無		加熱又は加温設備			有・無	
	不等沈下等のおそれのある場所への設置	有・無		漏えい拡散防止措置の方法				
橋への取付け設置	有・無	運転状態の監視装置			要・不要(有無)			
配管の諸元	配管	延長	km	配管系の警報装置			要・不要(有無)	
		外径	mm	安全制御装置			要・不要(有無)	
		厚さ	mm	圧力安全装置			要・不要(有無)	
		材料		圧力安全装置の材料				
		条数	条	漏えい検知装置			要・不要(有無)	
	最大常用圧力	kPa	漏えい検知装置	流量測定	秒			
	弁の材質			圧力測定器設置間隔	km			
	管継手	溶接管継手材料		漏えい検知口設置間隔			m	
		フランジ式継手材料		緊急遮断弁			要・不要(有無)	
		絶縁用継手材料		緊急遮断弁設置間隔			km	

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

(裏)

移送取扱所構造設備明細書

保 安 設 備	危険物除去装置		要・不要(有無)		ポ ン プ	種類・型式		
	感震装置等		要・不要(有無)			全揚程	m	
	感震装置等	感震装置設置間隔		km		吐出量	kl/時	
		強震計	設置間隔	km		基数	基	
	性能				ポ ン プ 室 の 構 造	壁		
	通報設備		要・不要(有無)			床		
	警報装置の種類					柱		
	化学消防自動車		要・不要(有無)			はり		
	化学消防自動車等	化学消防自動車	台数	台		屋根		
			設置場所			窓		
		巡回監視車	台数	台		出入口		
			設置場所			階数		
	資機材倉庫設置場所					建築面積	m ²	
	資機材置場設置間隔		km			延べ面積	m ²	
	予備動力源の容量				ピグ取扱い装置	有・無		
保安用設置		有・無		消 火 設 備				
標識等	位置標識設置間隔		m					
	注意標示設置間隔		m					
注意標識設置場所								
その他必要な事項								